

平成 23 年 度

川崎市工業用水道事業会計決算概況

川崎市上下水道局

# 1 平成23年度 工業用水道事業会計決算概況

## (1) 総括事項

工業用水道は、わが国初の公営工業用水道事業として昭和12年に給水を開始して以来、重化学工業を中心とした本市の産業経済の基幹施設として発展するとともに、工業用水道供給事業者として、活力にあふれ躍動するまちづくりを支える産業を振興するために、工業用水道の安定供給に取り組んでおります。

また、東日本大震災を踏まえ更なる地震対策の推進など、災害時における安定給水の確保を目指し、耐震化を考慮した工業用水道施設の更新に取り組んでおります。

水需要については、産業構造の変化や省資源対策による回収水の再利用などの影響を受け減少傾向にあり低迷していましたが、近年はほぼ横ばいで推移しています。

一方、財政面では、行財政改革などによる経費節減を推進したことにより、単年度資金残額が生じました。

今後も、再構築計画や施設の耐震化などに伴う建設改良費が増大することから、累積資金の活用と一層の工業用水道経営の健全化を推進してまいります。

## (業務の状況)

本年度末における契約会社・工場数は59社82工場、1日当たりの契約水量は51万7,420<sup>m</sup><sup>3</sup>、年間契約水量は1億8,939万4,020<sup>m</sup><sup>3</sup>、年間使用水量は1億4,614万6,181<sup>m</sup><sup>3</sup>です。

また、水道料金収入は税抜きで69億6,033万1,485円です。

## (建設及び改良工事)

本年度の建設改良費の決算額は、前年度からの繰越事業費を加えて、10億9,283万2,372円となっております。

また、本年度は3億7,326万8,668円を翌年度に繰り越しました。

主な建設改良工事として、施設再構築事業費については、給水能力の見直しを主軸とした水源や施設形態のあり方などを適正な規模に見直す再構築計画に基づき施設整備を行うもので、生田浄水場管理棟建築工事などを施行しました。決算額は6億3,885万2,440円となっております。

その他の建設改良費については、配水管の布設及び更新、浄水場など諸施設の改良工事を施行しました。

## 2 平成23年度 工業用水道事業会計決算総括表

### (1) 予算執行状況

#### ア 収入（税込額）

（単位 円）

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的収入	7,479,329,000	7,500,997,237	21,668,237	100.3%
資本的収入	954,797,000	401,806,428	△ 552,990,572	42.1%
合計	8,434,126,000	7,902,803,665	△ 531,322,335	93.7%

#### イ 支出（税込額）

（単位 円）

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的支出	7,025,525,000	6,618,697,923	△ 406,827,077	94.2%
資本的支出	2,903,539,763	1,741,181,167	△ 1,162,358,596	60.0%
合計	9,929,064,763	8,359,879,090	△ 1,569,185,673	84.2%

### (2) 収益的収支・資本的収支

#### ア 収益的収支（税込額）

（単位 円）

区分	収入	支出	収支差引
収益的収支	7,500,997,237	6,618,697,923	882,299,314

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益 832,312,015 円

#### イ 資本的収支（税込額）

（単位 円）

区分	収入	支出	収支差引
資本的収支	401,806,428	1,741,181,167	△ 1,339,374,739

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1,339,374,739円は、減債積立金 643,174,099円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 49,271,999円及び過年度分損益勘定留保資金 646,928,641円で補てんした。

### (3) 資金過不足額

#### ア 平成23年度単年度資金過不足額

（単位 円）

区分	金額	備考
当年度純利益（A）	832,312,015	<補てん財源等の内訳> ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 49,271,999 ・当年度分損益勘定留保資金 999,194,127 〔減価償却費 976,639,114 固定資産除却費 22,555,013〕
資本的収支差額（B）	△ 1,339,374,739	
補てん財源等（C）	1,048,466,126	
単年度資金残額（A）+（B）+（C）	541,403,402	

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

平成22年度末 資金残額	平成23年度 単年度資金残額	平成23年度末 資金残額
6,420,975,402	541,403,402	6,962,378,804

(4) 経営成績（税抜額）

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	6,098,138,677	営業収益	6,969,812,910
営業外費用	221,923,834	営業外収益	179,655,467
特別損失	17,622	特別利益	2,923,771
総費用	6,320,080,133	総収益	7,152,392,148
当年度純利益	832,312,015	当年度純損失	-
前年度繰越 利益剰余金	717,006,644	前年度繰越 欠損金	-
当年度末処分 利益剰余金	1,549,318,659	当年度末処理 欠損金	-

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資 金 不 足 比 率	経 営 健 全 化 基 準
工業用水道事業会計	— (資金不足となっていない)	20%

※資金不足比率は現段階での速報値である。